

令和元年東日本台風の再度災害防止の取組状況 (根川雨水幹線ポンプ場整備について)

本資料は、令和7年5月及び令和8年2月の
市民説明会資料を抜粋し調製しています。

1-1. 羽毛下・根川雨水幹線流域（六郷排水樋管の流域）



六郷排水樋管

項目	諸元
設置位置	多摩川左岸24.25km (元和泉三丁目3660番地先)
設置年月	昭和56年3月
流域面積	約260ha (内狛江市分18ha：根川排水区)
樋管種別	排水
樋管構造	幅3.4m × 高さ2.9m × 2連
樋管敷高	A.P.+21.200m (T.P.+20.066m)
ゲート形式	鋼製ローラーゲート
操作方法	電動式
排水ポンプ	吐出量計4 m ³ /分 (2m ³ /分 (0.033m ³ /秒) × 2基) 令和2年7月に追加配備 吐出量計1m ³ /分 (0.5m ³ /分 (0.008m ³ /秒) × 2基)



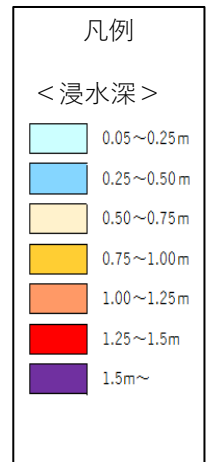
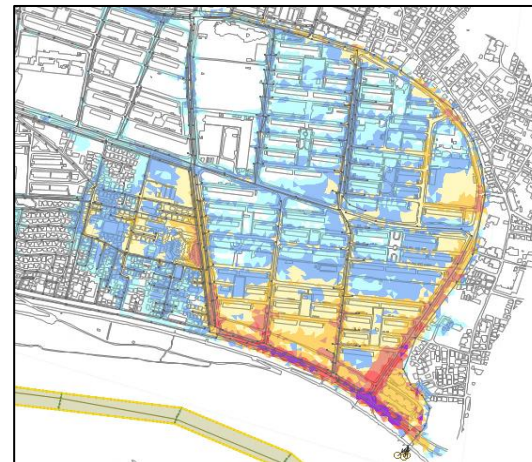
1-2. 羽毛下・根川雨水幹線流域における浸水被害の状況



< 浸水の状況 >



< 浸水の状況 >



< シミュレーション結果 (最大浸水時) >

1-3. 羽毛下・根川雨水幹線流域における浸水被害の状況と目標レベル

■樋管操作+河道掘削+逆流防止ゲートの設置

- ・ 計算条件
- ① 樋管の操作 多摩川からの逆流発生時に樋管を閉塞する最適操作
- ② 逆流防止ゲート（フラップゲート）
目的：根川雨水幹線から根川第1雨水幹線への逆流防止
位置：根川第1雨水幹線流末
- ③ 水位設定 国土交通省が公表している石原水位観測所付近の“「河道掘削効果約60cm水位低下」と同等の効果が六郷排水樋管付近で得られたと想定し設定



樋管操作+河道掘削+逆流防止ゲートによる
浸水被害軽減シミュレーション結果

【対策の目標】 浸水の解消

本日説明するポンプ施設の設置により、令和元年東日本台風と同規模の台風が来ても、浸水が生じないよう再度災害防止に取り組む。

※このページは調布市住民説明会（令和3年3月 最終報告）を基に作成

1-4. ポンプ施設の計画概要①

- ・定置式ポンプ3台（合計排水能力8 m³/秒）を根川雨水幹線の最下流部である根川公園に設置する事により、浸水は解消する。

①定置式ポンプ

<根川公園に建築する建屋内に配置>

はきだしすいそう

目的：根川雨水幹線から吐出水槽を經由して、水位の高低差で多摩川に雨水を排水

施設概要：φ1,200mm 160m³/分（=2.67m³/秒）×3台

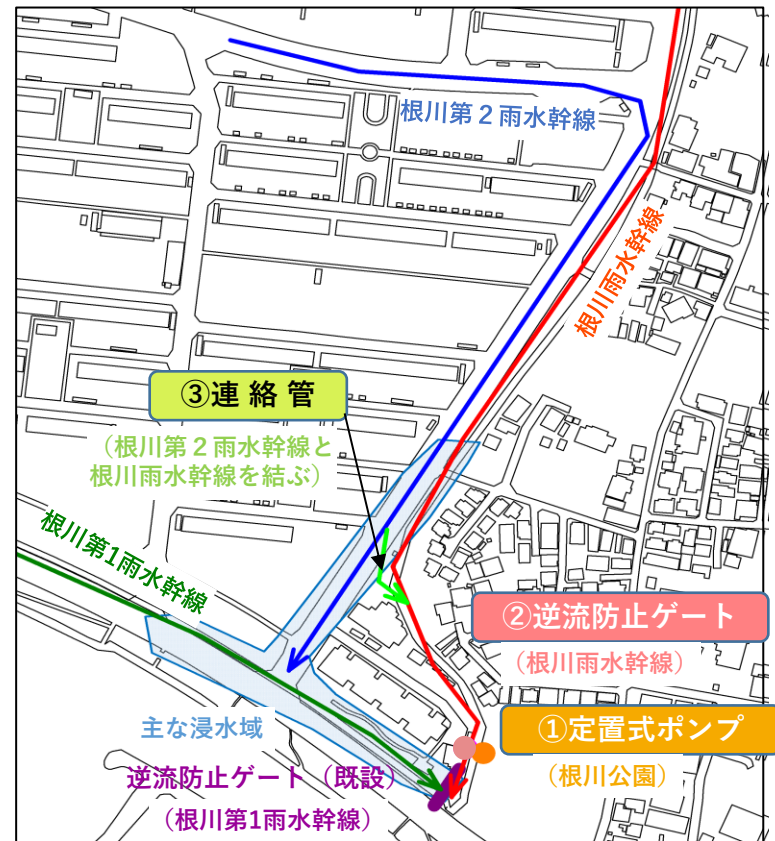
②逆流防止ゲート

目的：多摩川から根川雨水幹線への逆流防止（根川雨水幹線内に新設）

③連絡管

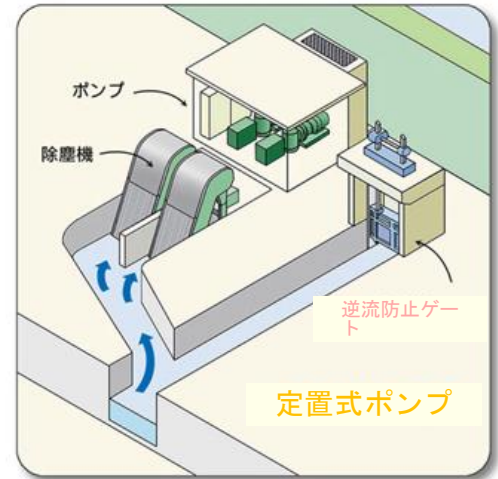
目的：根川第2雨水幹線の水を根川雨水幹線に通すことにより、根川第1・第2雨水幹線の主な浸水域（右図）の水を多摩川へ排水

施設概要：ボックスカルバート,1600mm×500mm, L=10m,逆流防止機能あり

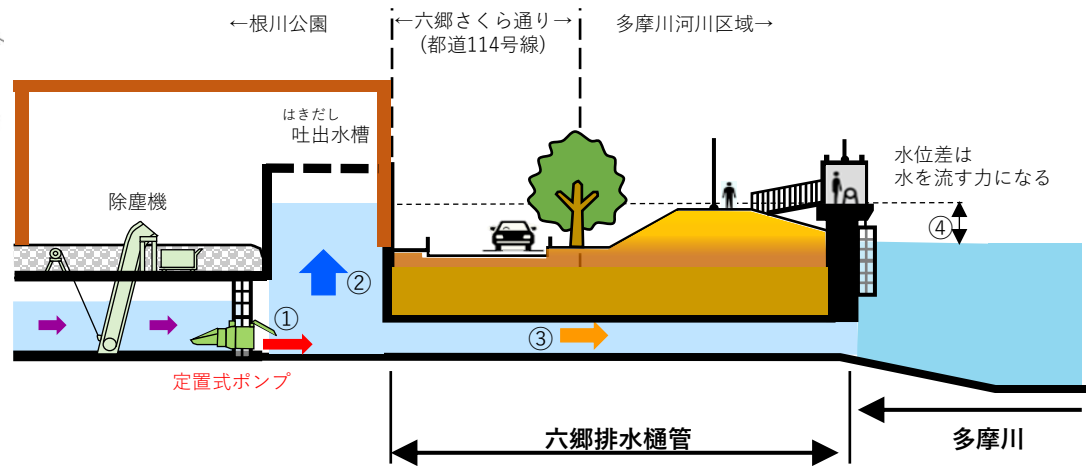
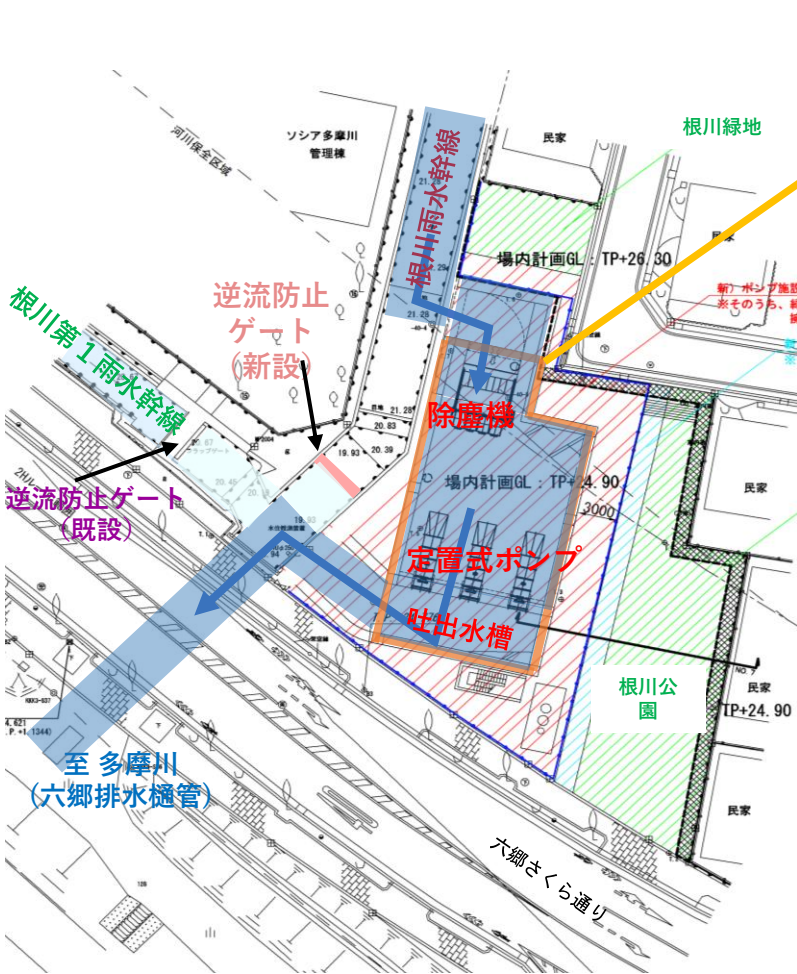


1-4. ポンプ施設の計画概要②

施設規模（建屋部）
 南北23.9m
 東西11.6m
 高さ12.75m



<配置イメージ図>



※検討中のイメージ図であり、今後変更の可能性があります。

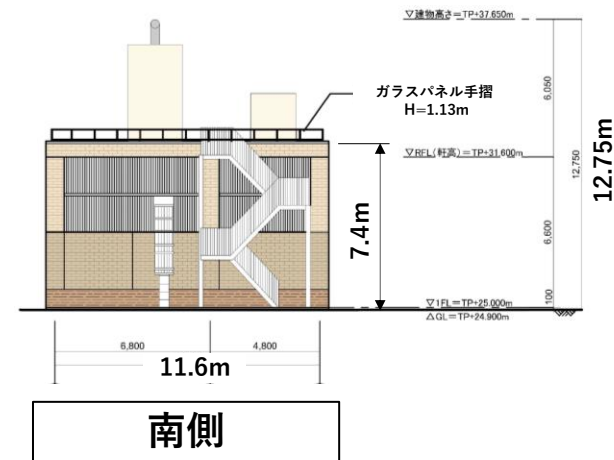
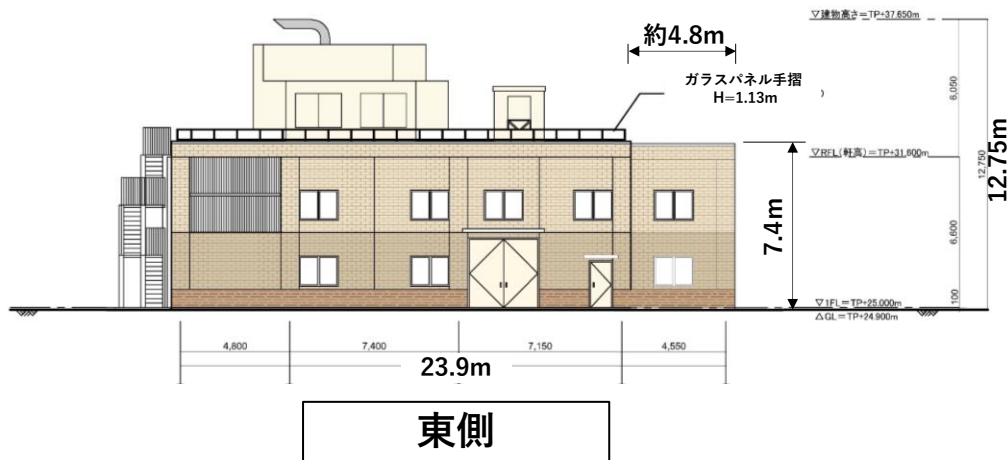
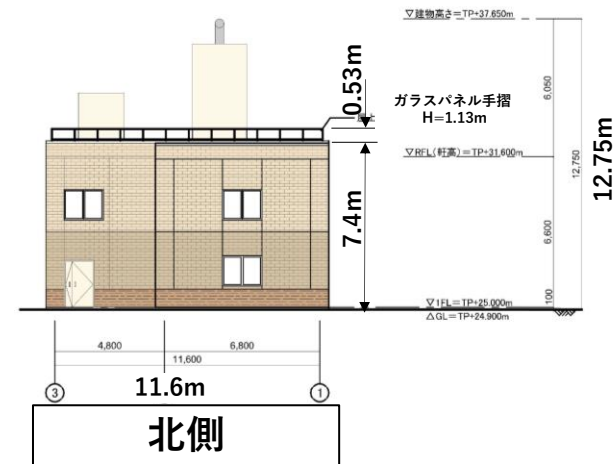
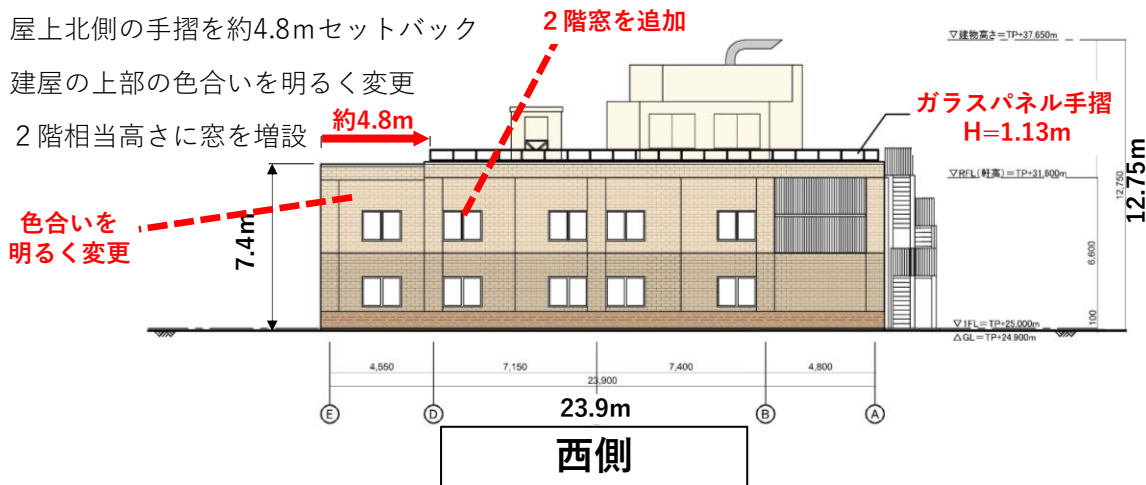
1-5. ポンプ施設について ①

令和7年5月の説明会等でいただいたご意見を参考に、
下記の箇所を修正しています。

立面図

周辺環境と調和するよう
ベージュ系の色彩とします

- ・屋上の目隠しルーバー（高さ2.0m）をガラスパネル手摺（高さ1.1m）に変更
- ・屋上北側の手摺を約4.8mセットバック
- ・建屋の上部の色合いを明るく変更
- ・2階相当高さに窓を増設



※検討中のイメージ図であり、今後変更の可能性があります。

1-5. ポンプ施設について ②

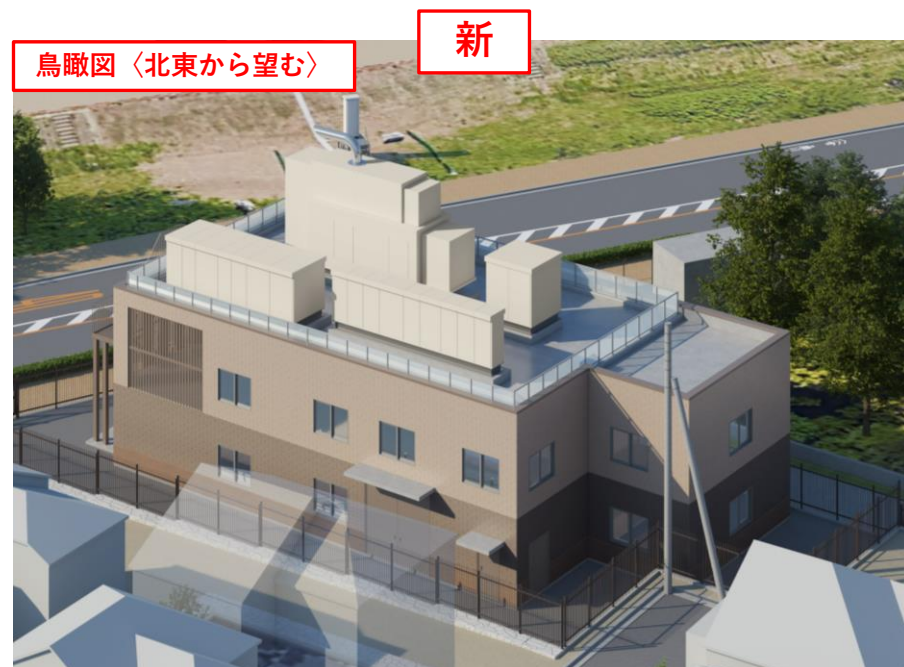
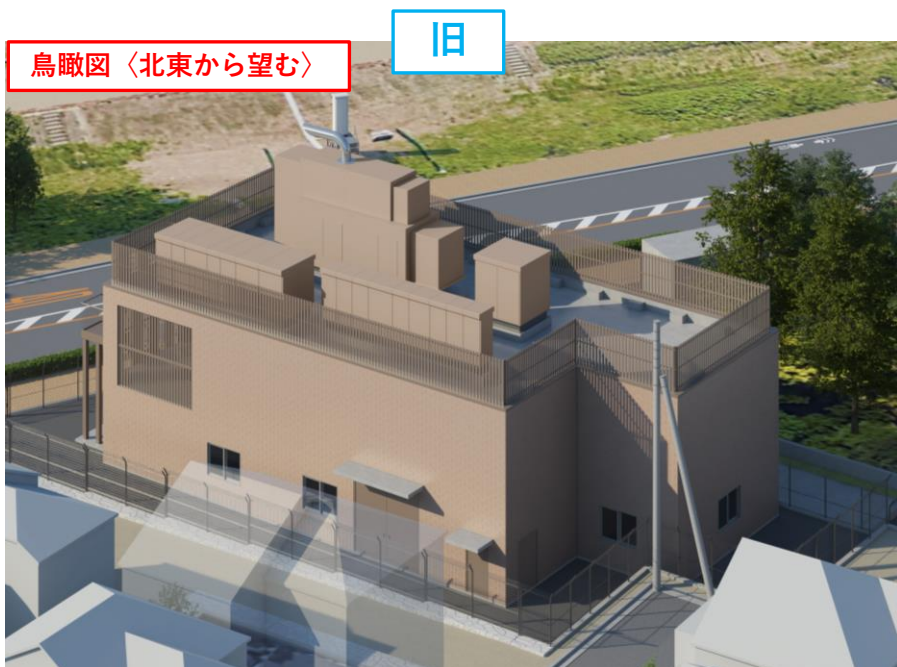
令和7年5月の説明会等でいただいたご意見を参考に、下記の箇所を修正しています。

○建屋の高さを抑える

- ・屋上の目隠しルーバー（高さ2.0m）をガラスパネル手摺（高さ1.1m）に変更
- ・屋上北側の手摺を約4.8mセットバック

○建物の圧迫感を減らす

- ・建屋の上部の色合いを明るく変更
- ・2階相当高さに窓を増設



※検討中のイメージ図であり、今後変更の可能性が 있습니다。

2-1. 事業のスケジュール案 ①

今回の説明会では、令和7年5月の市民説明会でお示ししたスケジュールの令和8年度部分の準備工事について説明します。

項目	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度	R 12 年度	R 13 年度	R 14 年度
逆流防止 ゲート施工	施工										
浸水被害軽減 総合計画策定	計画策定										
設計・工事 (前回説明会)		基本設計		詳細設計	都市計 画変更	建築確認 等手続き					復元 工事
				遺跡調査		工事					

※このスケジュールは現時点での想定スケジュールです。

2-1. 事業のスケジュール案 ②

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降	備考
詳細設計	詳細設計			
都市計画変更	都市計画変更・事業認可変更			
準備工事	8月遺跡試掘調査	5月仮囲い設置 5月樹木伐採 6月～R9. 1月遺跡本調査	3月樹木移植	
準備工事 (測量関係)		1月～8月登記書類作成		
建築確認等			建築確認等手続き	
関連機関協議	河川、消防、開発 公園等			
本工事			本工事	
説明会等	5/9・10 市民説明会	2/6・7 準備工事説明会	2月頃 本工事説明会 (本工事開始前)	

- ・令和8年5月に仮囲いを設置した後は、根川公園を使用することができません。
(公園の閉鎖につきましては、改めて周知をします。)
- ・根川公園の復元については、公園の設計を行う前の検討過程で、周辺にお住まいの方のご意見を伺ってまいります。

※このスケジュールは現時点での想定スケジュールです。

参考資料 3

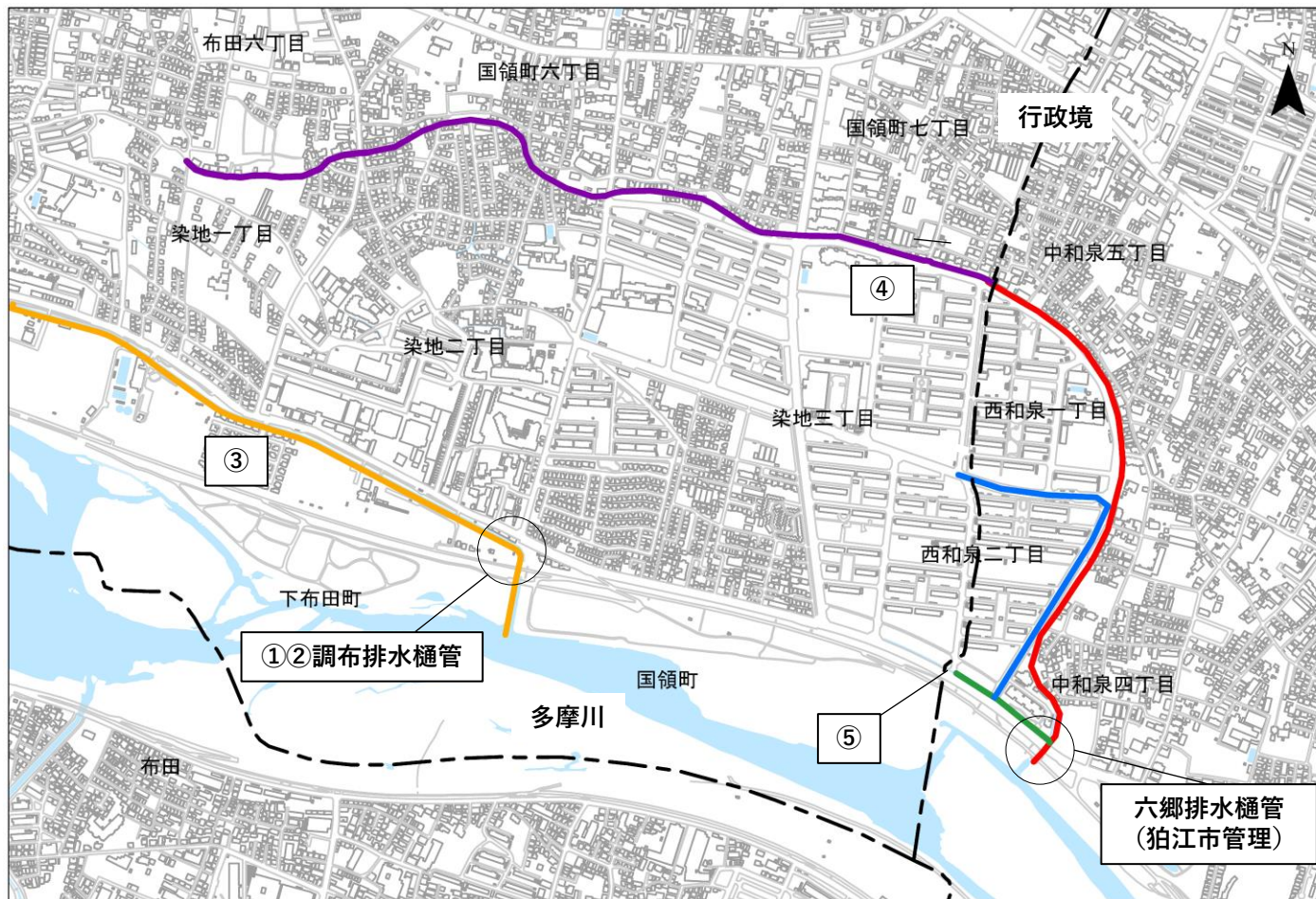
浸水被害軽減に向けたこれまでの取組状況

参考3-1.(A-1) 水位計等の設置（調布市）

■水位計等設置個所（5カ所に設置）

目的：令和元年の台風19号の被害を踏まえた水害対策の一環として、水位計・監視カメラを市内の水路に設置

内容：水位情報や画像をインターネットで公開



①② 調布排水樋管(多摩川市民広場の東側)の内水門(調布幹線側)及び外水門(多摩川側)(計2カ所)
※調布排水樋管については、監視カメラを2カ所、降雨計1台、流向計2台を設置

③ 調布幹線(桜堤通り沿い、布田南通りとの交差点付近)

④ 羽毛下幹線(羽毛下通り沿い、染地小学校の北東側)
※羽毛下幹線は狛江市に入ると根川雨水幹線に名称変更

⑤ 多摩川沿い根川上流部(染地通り沿い、多摩川住宅ホ号棟の南側)

参考3-1.(A-2) 排水樋管等の遠隔操作化（調布市・狛江市）

■ 樋管操作の遠隔操作化

目的：職員退避時等においても、ゲート開閉等を可能とする

内容：六郷排水樋管・猪方排水樋管・調布排水樋管のゲート設備及び排水ポンプを、市役所庁舎から遠隔操作化

遠隔操作化イメージ

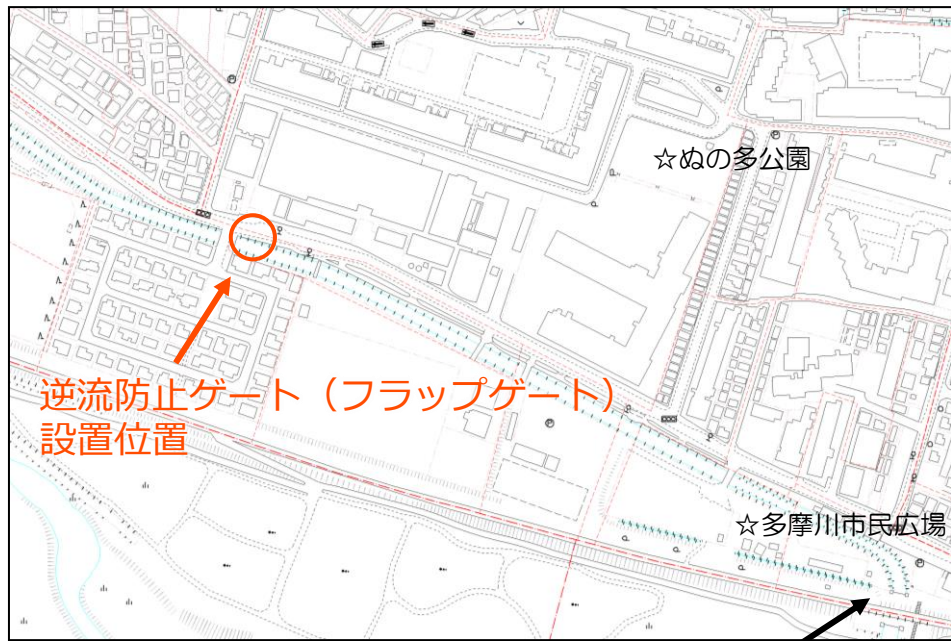


参考3-1.(A-3) 調布幹線に流入する水路への逆流防止ゲート (フラップゲート) 設置工事 (調布市)

■逆流防止ゲート (フラップゲート) 設置

目的：浸水被害軽減対策として、調布幹線に流入する水路への調布幹線からの水の逆流を防止

設置時期：令和3年6月設置



調布排水樋管



高さ1.5m × 幅1.5m



設置風景

参考3-1.(A-4) 雨水浸透施設の設置（調布市）

- 雨水の流出による浸水被害を軽減するため、雨水流出抑制施設の設置を行うよう要網の制定や雨水貯留施設の設置に対する助成などの取組を推進

雨水流出抑制に関する指導要綱等

区市名	雨水流出抑制に関する指導要綱等	対象規模	対策内容
調布市	調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり例 調布市開発指導要綱	500m ² 以上の開発、 高さ10m以上の建築物、15戸以上の 集団住宅等	500m ² 未満 200m ³ /ha以上
			500～1000m ² 300m ³ /ha以上
			1000m ² 以上 600m ³ /ha
	調布市雨水浸透施設設置基準	一般住宅・ 小規模共同住宅 (新築時協力要請)	200m ² 未満 10mm/h以上
			200m ² 以上500m ² 未満 20mm/h以上
			500m ² 以上1000m ² 未満 30mm/h以上
			1000m ² 以上 60mm/h以上

浸透ます・トレンチ等の助成（小規模民間施設）

区市名	雨水流出抑制施設（浸透ます・トレンチ等）の助成	対象規模	対策内容
調布市	調布市雨水浸透ます設置要綱	既存の一般住宅、個人の所有する 集合住宅	雨水浸透ます4型又は5型、6基を 市が設置

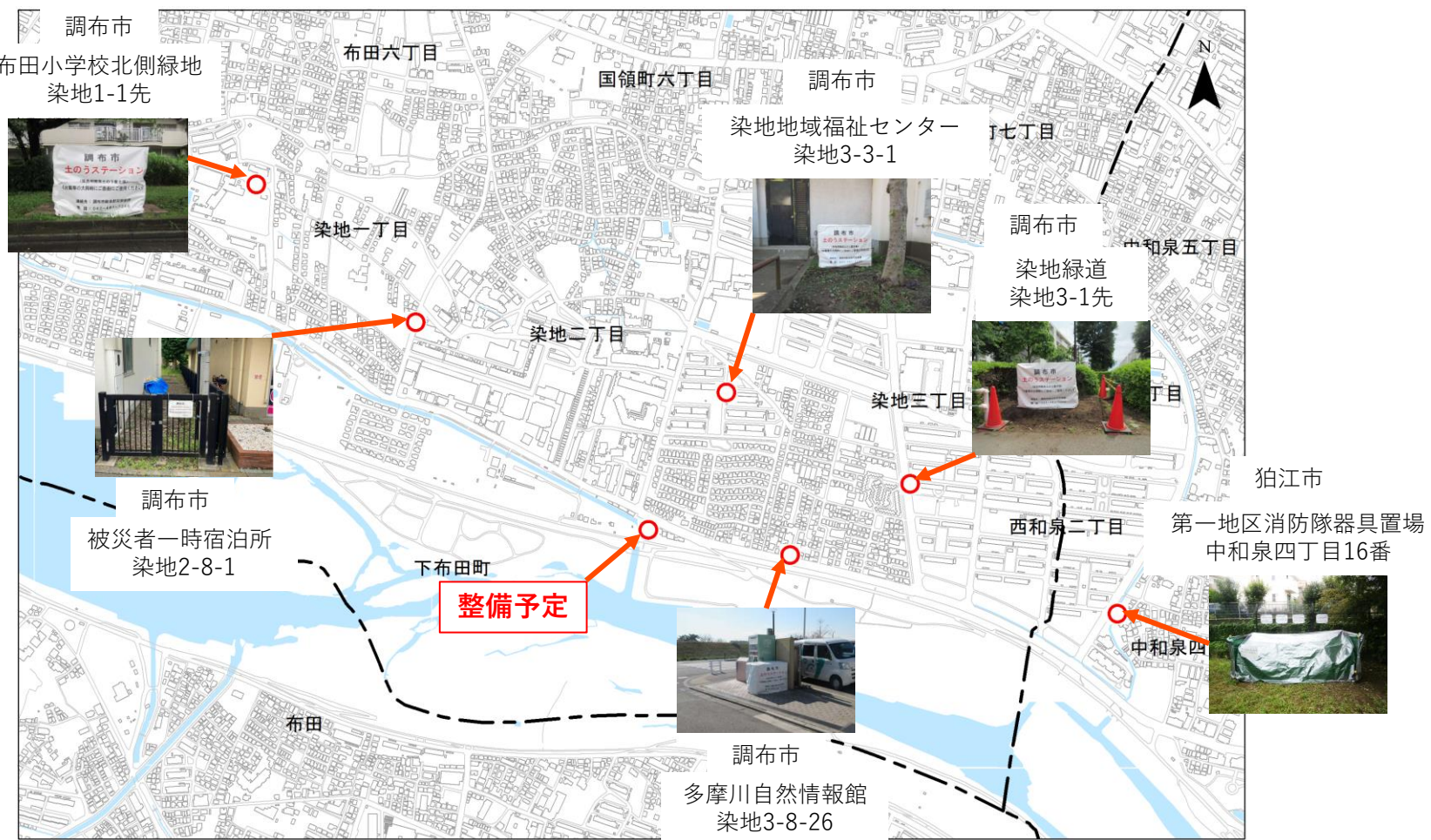
参考3-1.(A-5) 可搬式排水ポンプの配備（調布市・狛江市）

- ・ 浸水被害を軽減するため、可搬式排水ポンプを配備し、内水排除の補完・強化を実施

調布市	狛江市	
<p>1分間に3.3m³排出できる可搬式排水ポンプを3台配備</p> <p>令和2年5月</p>	<p>1分間に2m³排水できる既設排水ポンプ2台に加え1分間に0.5m³排水できる可搬式排水ポンプ2台増設</p> <p>令和2年7月</p>	<p>1分間に15m³排水できるフラッドポンプ1台と1分間に4m³排水できるマンホール用ポンプ1台を備えたポンプユニットを配備</p> <p>令和3年12月</p>
		

参考3-1.(A-6) 土のうステーションの設置 (調布市・狛江市)

・各家庭での浸水対策を推進するため、自由に持ち出すことができる土のうを保管する土のうステーションを設置



参考3-1.(A-7) 河道掘削・樹木伐採 (国土交通省)

■国土交通省 多摩川緊急治水対策プロジェクト (河川改修について)

多摩川緊急治水対策プロジェクト
 ～首都東京への溢水防止及び沿川・流域治水対策の推進～

【令和6年度版】

- 令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した、多摩川において、国、都、県、市区が連携し、「**多摩川緊急治水対策プロジェクト**」を進めています。
- 国、都、県、市区が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、「社会経済被害の最小化」を目指します。
 - ①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】
 - ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】
 - ③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】
- 令和6年度は河道掘削と堤防整備及び堰改築を継続するとともに、多機関連携型タイムラインの運用を実施しています。



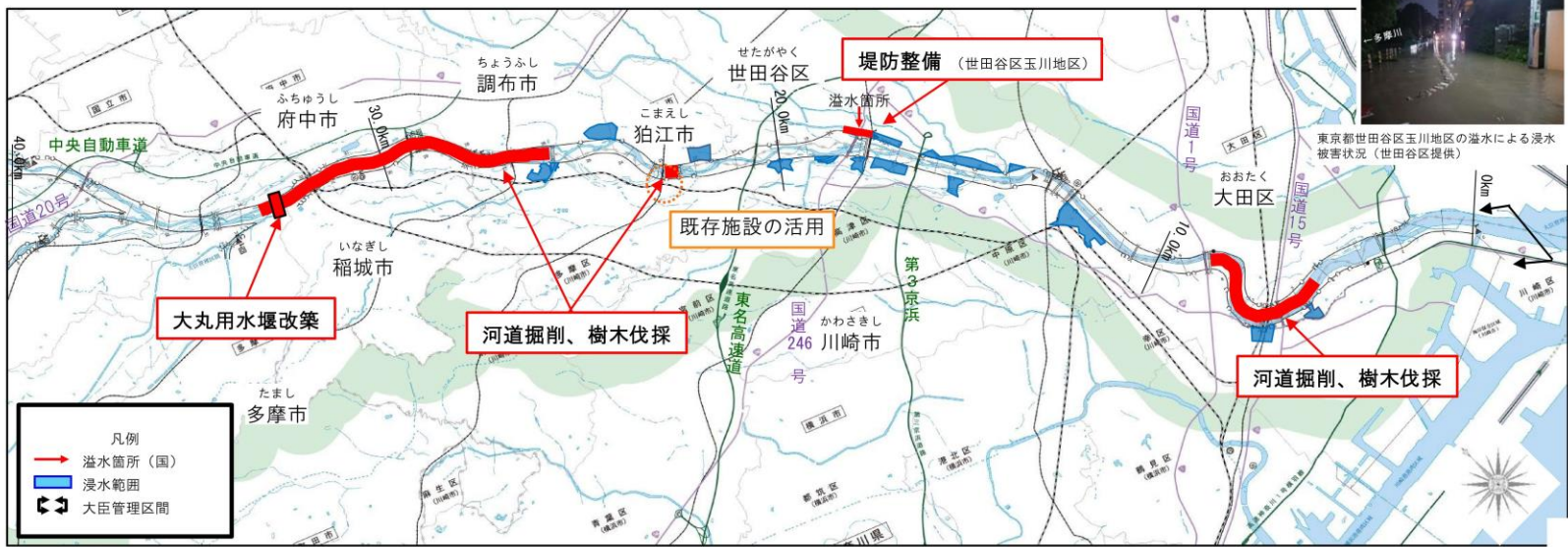
■河川における対策

全体事業費	約255億円※
災害復旧	約28億円
改良復旧	約227億円
事業期間	令和元年度～令和7年度
目標	令和元年東日本台風洪水における本川からの越水防止
対策内容	河道掘削、樹木伐採、堰改築、堤防整備等

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。
 ※土砂運搬等の進捗により、必要に応じて他事業と連携して事業を実施

- 流域における対策**
- (下水道事業等の整備促進)
 - ・流出抑制施設の整備等
 - ・既存施設(五反田川放水路)の活用による雨水貯留
 - ・下水道樋管等のゲート自動化・遠隔操作化等
 - ・移動式排水設備(排水ポンプ車等)の整備
 - ・土のう等の備蓄資材の配備等

- ソフト施策**
- ・自治体との光ケーブル接続
 - ・簡易型河川監視カメラの設置
 - ・多機関連携型タイムラインの策定、運用
 - ・講習会等によるマイ・タイムラインの普及促進
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
 - ・自治体職員対象の排水ポンプ車運転講習会の実施等

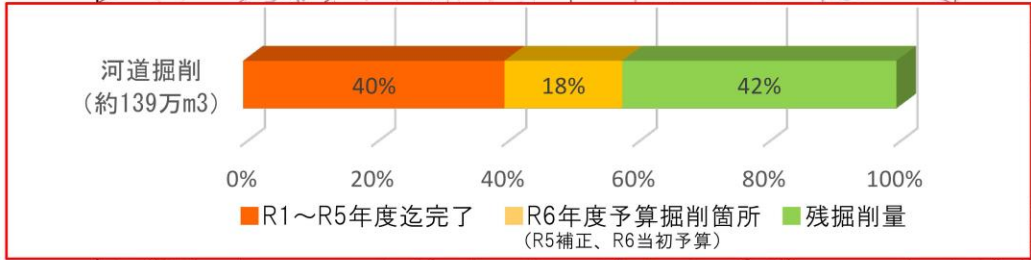


※計数及び対策については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある

参考3-1.(A-7) 河道掘削・樹木伐採（国土交通省）

■国土交通省 多摩川緊急治水対策プロジェクト（進捗状況）

多摩川緊急治水対策プロジェクト<河道掘削> 【令和7年2月時点】



掘削完了 : 約 30万m³
 R6年度予算施工 : 約 14万m³
 残掘削量 : 約 35万m³

掘削完了 : 約 26万m³
 R6年度予算施工 : 約 11万m³
 残掘削量 : 約 23万m³

- R1～R5年度河道掘削実施箇所
- R6年度予算河道掘削施工箇所
- 残掘削箇所

※R7年2月末時点の情報となります。現地の状況により今後変更となる場合がございます。

参考3-1.(A-8) 小河内ダムの洪水対策への協力（多摩川水系治水協定）

■ 対策事例 【多摩川流域治水プロジェクト:京浜河川事務所、東京都、神奈川県】

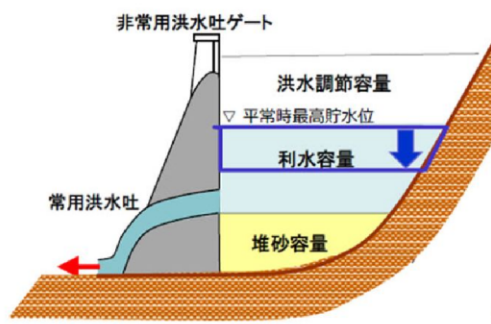
『利水ダムにおける事前放流等の実施、体制構築』

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - (4) 流水の貯留機能の拡大
 - ① 利水ダム等による事前放流の更なる推進（協議会の創設等）

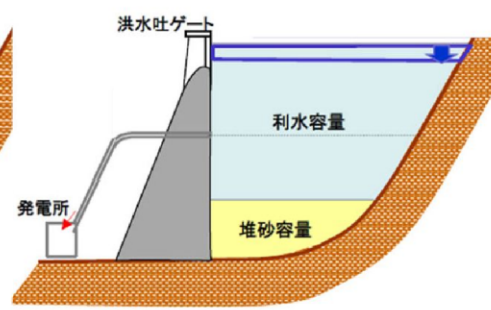
- 多摩川水系において、河川管理者である国土交通省並びにダム管理者及び関係利水者は「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針」に基づいた「多摩川水系治水協定」を締結しました。
- 河川について水害の発生防止等が図られるよう同水系で運用されている小河内ダムの洪水調節機能強化を推進します。

有効活用のイメージ

多目的ダムの事前の放流



利水ダムの事前の放流



※放流設備の改良等が必要なものは効果が高いものから順次実施を検討

多摩川水系治水協定

一級河川多摩川水系において、河川管理者である国土交通省並びにダム管理者及び関係利水者（ダムに権利を有する者をいう。以下同じ。）は、「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針」（令和元年12月12日 既存ダムの洪水調節機能強化に向けた検討会議決定）（以下「基本方針」という。）に基づき、河川について水害の発生防止等が図られるよう、下記のとおり協定を締結し、同水系で運用されているダム（以下「既存ダム」という。）の洪水調節機能強化を推進する。

多摩川水系治水協定
令和2年5月27日締結

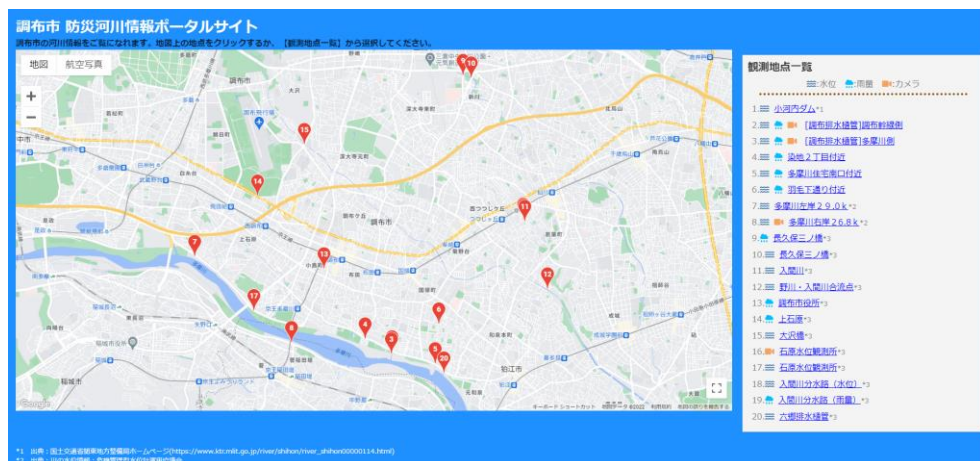
【事前放流とは】
大雨となることが見込まれる場合に、大雨の時により多くの水をダムに貯められるよう、利水者の協力のもと、利水のための貯水を河川の水量が増える前に放流してダムの貯水位を低下させ、一時的に治水のための容量を確保するもの。

多摩川流域協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている都市区町村
京浜河川事務所、東京都、神奈川県

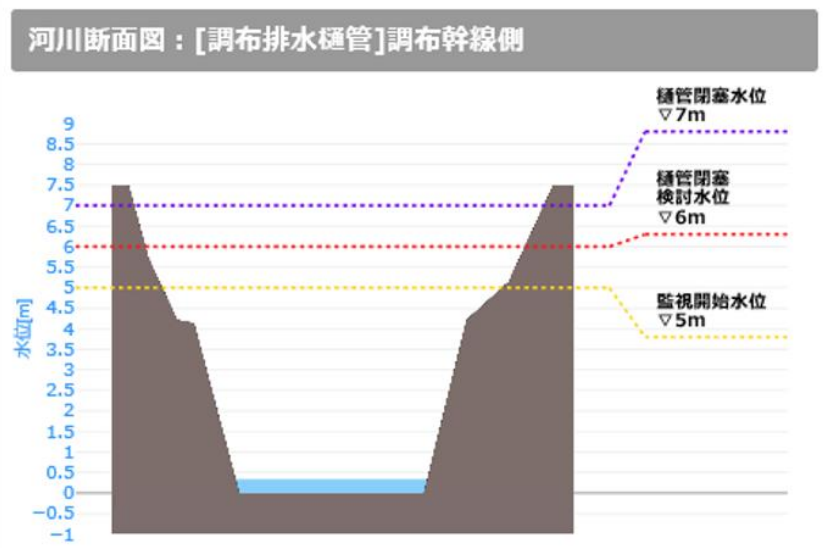
参考3-2. (B-1) 水位情報等の公開 (調布市)

■ 調布市防災河川情報ポータルサイト

- ・ 多摩川石原水位観測所、調布排水樋管及び調布幹線と羽毛下 (はけした) 幹線の水位等を市のホームページから確認可能



調布市 防災河川情報ポータルサイト：
<https://chofu.bousai-bec.jp/>



監視開始外水位：水位が5mを観測した際、ゲートの稼働点検を行います
 樋管閉塞検討水位：水位が6mを観測した際、操作準備体制にはいります
 樋管閉塞水位：水位が7mを観測した際、樋管を閉塞します

参考3-2. (B-2) 内水ハザードマップの作成・公表（調布市・狛江市）

【調布市】

- ・令和4年8月に、内水浸水想定区域図を調布市ホームページの「調布まっぷ」に掲載し、令和5年3月に、内水浸水に係るハザードマップを作成

【狛江市】・内水浸水による被害の軽減を図るため、令和3年6月に全戸配布

情報の入手方法

調布市が提供する情報はこちらで入手

- 調布市公式ホームページ
- 調布市防災ポータルサイト
- 調布市公式LINEアカウント
- 調布市防災メール
- 調布市防災アプリ
- 調布市防災パンフレット
- 調布市防災ポスター
- 調布市防災ビデオ
- 調布市防災音声ガイド
- 調布市防災QRコード

河川に関する情報はこちらで入手

河川に関する情報は、河川防災ポータルサイト、河川防災ポスター、河川防災音声ガイド、河川防災QRコードで入手してください。

官公庁等の情報はこちらで入手

消防、警察、国土交通省、国土院、国土交通省河川防災ポータルサイト、国土院河川防災ポータルサイト、国土院河川防災ポスター、国土院河川防災音声ガイド、国土院河川防災QRコードで入手してください。

立退き避難の注意点

立退き避難の注意点

- 立退き避難の目的
- 立退き避難の場所
- 立退き避難の方法
- 立退き避難の注意事項

水害時の避難の流れ

水害時の避難の流れ

水害発生時は、まず自宅を確認し、安全な場所へ避難してください。避難先は、事前に確認しておきましょう。

安全の確認方法

安全の確認方法

安全の確認方法は、事前に確認しておきましょう。安全確認が完了したら、避難先へ避難してください。



市ホームページ、狛江市内水ハザードマップ

インターネットアドレス：<https://www.city.komae.tokyo.jp/index.cfm/41,116563,313,2003.html>

参考3-2. (B-3) 電柱等への想定浸水深表示 (調布市・狛江市)

■ 想定浸水深表示について

【調布市】

- ・多摩川浸水想定区域内の小中学校近隣及び幹線道路沿いの電柱70箇所設置済み
- ・一部には実際の浸水深の高さに赤テープを貼るとともに、浸水深の説明等のQRコードを表示

イメージ例
赤テープ



【狛江市】

- ・多摩川洪水時の浸水想定区域内の電柱に145箇所設置済み



想定浸水深表示板

狛江市例



調布市例

参考3-2. (B-4) 市内気象情報及び防災情報の配信（調布市）

■ 調布市防災・安全情報メールでの情報発信

- ・ 「調布市防災・安全情報メール」は、市からの緊急情報や地震情報(調布市震度3以上)、気象情報(特別警報、警報、注意報)、災害情報などを配信
- ・ 避難に関する情報として、「警戒レベル」、「取るべき行動」等も配信



・ 調布市防災・安全情報メール

<https://www.city.chofu.lg.jp/020090/p013020.html>



・ 調布市公式ツイッター

https://twitter.com/chofu_shi



・ 調布市公式フェイスブック

<https://www.facebook.com/ChofuCity/>



・ 調布市公式LINE

<https://page.line.me/045cbkeo?openQrModal=true#~>



・ 調布市公式インスタグラム

chofu_Tokyo https://www.instagram.com/chofu_tokyo/?hl=jp

参考3-3. (C-2) 避難所の開設訓練 (調布市)

■ 避難所開設訓練

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所開設訓練を実施



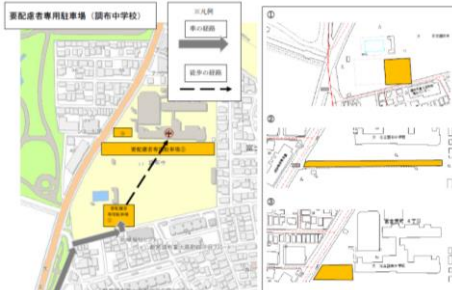
■ 要配慮者等避難バス運行訓練

要配慮者等を対象とした避難バスの運行訓練の実施



■ 要配慮者用駐車場開設訓練

要配慮者用駐車場の運営訓練を実施



参考3-3. (C-3) 避難所の開設・混雑情報の提供（調布市）

■避難所の開設・混雑情報の提供

避難所の混雑情報を公開・提供



サイト情報イメージ図



調布市ホームページ 調布市の避難所情報
<https://shelter.chofu.vc/>

参考3-4.(D-1) 排水樋管の操作規則の策定（調布排水樋管）

■排水樋管の操作規則の策定

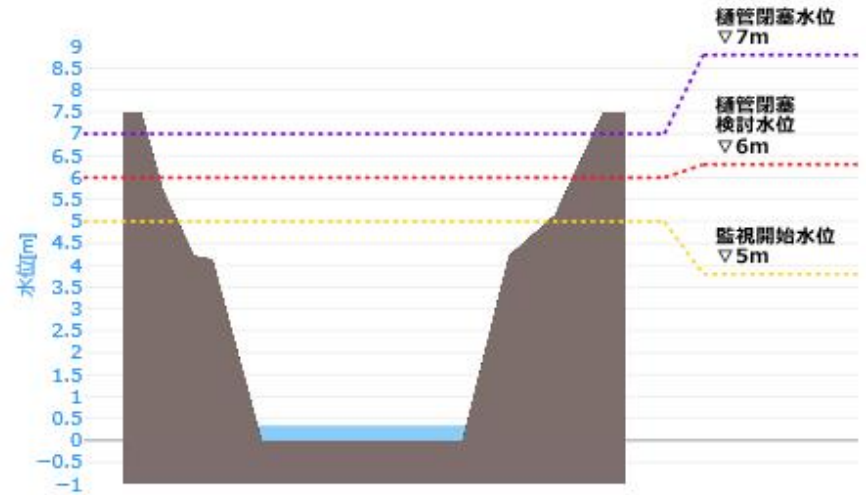
排水樋管操作の目的

多摩川の洪水等による調布幹線への逆流を防止

河川最新画像：[調布排水樋管]調布幹線側



河川断面図：[調布排水樋管]調布幹線側

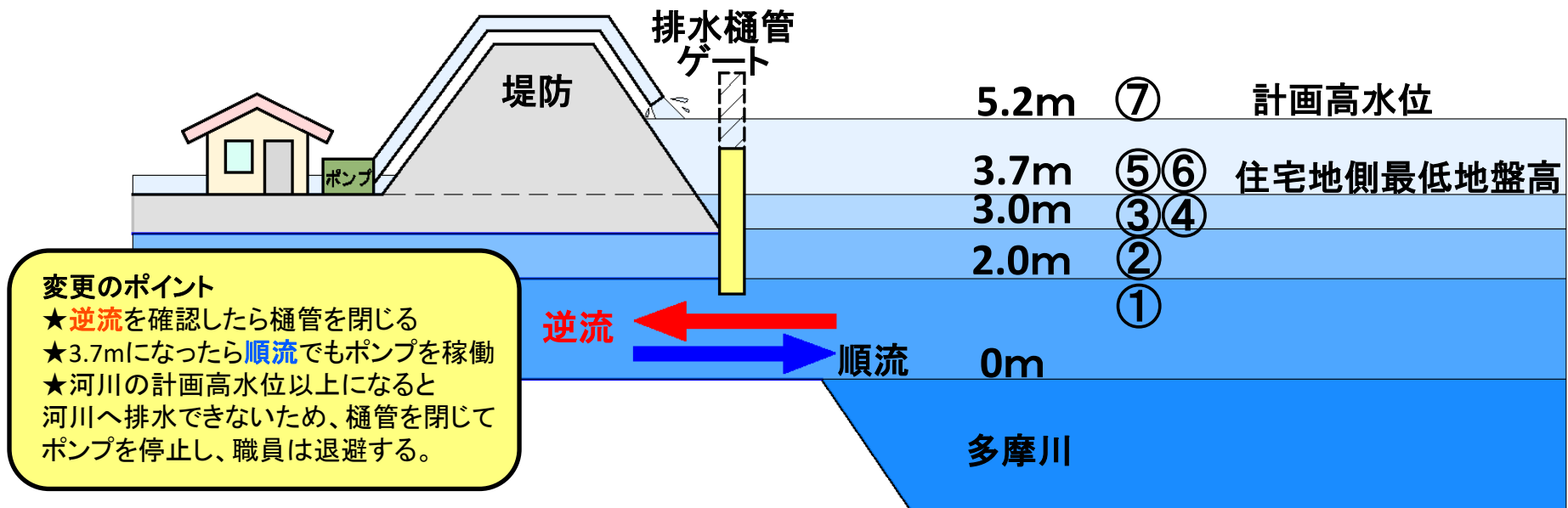


監視開始外水位：水位が5mを観測した際、ゲートの稼働点検を行います
樋管閉塞検討水位：水位が6mを観測した際、操作準備体制にはいります
樋管閉塞水位：水位が7mを観測した際、樋管を閉塞します

- ▶ 黄色の点線：水位が5mを観測した際、ゲートの稼働点検を実施 → 監視開始水位
- ▶ 赤色の点線：水位が6mを観測した際、操作準備体制に移行 → 樋管閉塞検討水位
- ▶ 紫色の点線：水位が7m（計画高水位）を観測した際、ゲートを全閉 → 樋管閉塞水位

※流向計等において多摩川から調布幹線への逆流が始まったと判断したときは、ゲートを全閉

参考3-4.(D-1) 排水樋管の操作規則の策定（六郷排水樋管）



樋管敷高からの高さ			流れの向き	職員	樋管	ポンプ	見直し内容	
⑦	5.2m	計画高水位	到達	-	退避	閉塞	停止	追加
⑥	3.7m	住宅地側最低地盤高	以上	逆流		閉塞	稼働	追加
⑤	3.7m	住宅地側最低地盤高	以上	順流	水位監視	開放	稼働	追加
④	3.0m		以上	逆流		閉塞	稼働	追加
③	3.0m		以上	順流	水位監視	開放	準備	追加
②	2.0m		到達		現場に常駐し、水位観測	開放	-	変更なし
①	2.0m		未満		巡回監視	開放	-	変更なし

参考3-4.(D-3) 雨水浸透ます無料設置（調布市） 雨水浸透ます・貯留タンクの設置助成（狛江市）

雨水浸透ます・貯留タンク：
雨水をできるだけ地下へ浸透させ下水道や河川への流出を抑制し、
浸水被害の軽減

【調布市】

- ・ 雨水浸透ますの設置費用を市が負担
- ・ 希望者には無料で工事实施

内容：「調布市雨水浸透施設設置基準」に基づき、
流出抑制施設の設置を住民協力のもと推進する。

【狛江市】

雨水浸透ます、雨水貯留槽（タンク）の
設置についても助成金制度を活用して推進

実施時期：実施中



宅地内 雨水浸透ます



雨水貯留タンク

参考3-4.(D-4) 止水板等設置に対する助成制度（調布市・狛江市）

風水害時における浸水被害の防止及び軽減を図るため、住宅（共同住宅を含む。）、店舗、事務所等において、止水板の設置その他の浸水防止対策を実施した方に対して、設置等に要した費用の一部を助成する制度を創設



助成対象事業		対象となる方	基準額	
			助成割合	助成額の上限
調布市	止水板の設置工事 (止水板の製品購入費を含む)	所有者又は管理組合等	実支出額の2分の1	20万円
	排水ポンプの購入	防災市民組織又は管理組合等		5万円
	可搬式非常用発電機の購入			10万円
	上記以外の関連工事 (関連設備の購入費を含む)	所有者又は管理組合等		20万円
狛江市	止水板の設置工事 (止水板の製品購入費を含む)	過去に浸水被害を受けたことがある住宅等、または、浸水被害が発生するおそれのある地域にある住宅等の所有者、使用者または管理組合	実支出額の2分の1	20万円
	浸水被害防止または軽減に資する関連工事			